

三六災害に学ぶ会

～来年は三六災害から50年です～

開催のご案内

主催：大鹿村、国土交通省天竜川上流河川事務所

日時：平成22年6月29日（火）14:00～16:30

場所：大鹿村 大西公園（集合場所）及び当時の被災箇所

昭和36年6月の梅雨前線による災害、いわゆる三六災害では、伊那谷に未曾有の大災害をもたらし、特に、大鹿村では村内各所で土砂崩れ、土石流等が発生し、55名の尊い命が失われました。

中でも6月29日に発生した大西山の大崩壊では、全壊家屋が39戸、死者・行方不明が42名の大惨事に見舞われました。

あの大惨事から年月が流れ、来年で50年の節目を迎えようとしています。国土交通省では三六災害を契機に「安全・安心の地域づくり」のため、砂防工事や地すべり対策工事を推進してまいりました。

また、大鹿村では崩落した土砂の上を公園として整備し、村民による桜の植樹が精力的に行われました。崩壊の引き金となつた小渋川の流れも床固工群の完成が間近となり、土砂災害への備えが向上し、安心して住むことができる地域へと生まれ変わってきました。

一方、近年でも異常気象による集中豪雨などによって、毎年各地で土砂災害等による甚大な被害が発生し、尊い命や財産が失われています。

来年、50年の節目の年を迎えるに当たり、1年前となるこの日に、今一度三六災害を振り返り、地域の皆様とともに、今後の防災対策について考える契機とするため、「三六災害に学ぶ会」を開催することとなりましたのでご案内します。

問い合わせ先
・大鹿村 産業建設課長 長尾 勝 TEL:0265-39-2001(代表)
・国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
事業対策官 中島 一郎 TEL:0265-81-6417(代表)

次 第

- 14:00 あいさつ(大鹿村長)
14:10 災害概要説明
14:20 殉難の碑前で献花・焼香
14:40 大西公園から
 ・大崩落で被害を受けた範囲の確認
 ・災害の追想 ①(災害体験者のお話)
 ・整備された砂防設備の説明
15:55 桜橋に移動し
 ・大河原床固工群の説明
15:30 下市場地区に移動し
 ・災害の追想 ②(災害体験者のお話)
16:00 建設省職員慰靈碑前で献花・焼香
16:30 終了



土砂に屋根まで埋められた家



三六災害被災時の大鹿村大河原地区



大西山崩壊状況

*天竜川上流河川事務所では、三六災害50年に向けた取り組みを、今後も関係機関や地域の皆様と連携を図りながら進めていきたいと考えています。



最近の状況